

保育相談支援	2年 後期	演習1単位	担当教員名	小玉 幸助
	卒選 幼選 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 保育者として専門性とされる相談支援、援助技術の内容と方法を理解し、技術を習得する。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育相談支援の目的と原則について理解する。 ・ 保護者支援の基本を理解する。 ・ 保育相談支援の実際を学び、知識と方法を理解し、援助技術を習得する。 ・ 児童福祉施設等における保護者支援の実際について理解する。 				
授業の概要 保護者への相談支援は、保育者の業務であり、その専門性を生かして子育て支援の役割が、特に重要なものあることを踏まえ、保育に活用され応用される相談支援の内容と方法、援助技術の習得を目的に学ばせる。その際、子どもの保健、相談支援、家庭支援援助論との科目との関連性を考慮する。				

授業計画

コマ(回)	項目	内 容
1	保育相談支援の意義	・オリエンテーション ・保育相談支援の意義 ・保護者の背景
2	保育相談支援の内容	・保育者が可能な保育相談支援の内容 ・保育相談支援と待機児童について
3	保育相談支援の基本	・児童虐待についてへの対応方法(演習) ・保育相談支援技術と虐待について
4	子どもの最善の利益	・子どもの幸福とは ・DINKSとDEWKSについて ・ジェノグラムについて(演習) ・ABCE分析とニーズ調査について
5	保護者の養育力向上とは	・インタビューとアセスメント ・現代社会下の子育てについて(演習:ブレイン・ライティング技法)
6	信頼関係の構築	・レポートの重要性について ・レポートの構築法(演習:ブレインストーミング技法)
7	地域の資源と関係機関	・社会資源の種類(大学・行政機関・NPO法人等) ・社会資源の役割について
8	保護者に対する指導	・保護者会における子育て支援 ・子育て支援ネット社会の実現について
9	保護者支援の内容	・アセスメントの内容と活用方法について ・ペアレント ・トレーニングについて
10	保護者支援の方法と技術	・Nobody s perfect program ・コモンセンスペアレンティングについて ・保育相談支援技術の活用(演習:ロールプレイ) ・ABCE分析演習
11	演習:保育相談支援①	・保育相談支援演習(グループワーク・トレーニング) ・生活援助技術について
12	演習:保育相談支援②	・保育相談支援事例演習(援助技術) ・障害児を抱える保護者対応について(演習)
13	カンファレンスについて	・他職種とのケア会議について ・プランニング・評価・終結について
14	特別対応を要する支援	・保育所の役割と地域資源について ・特別対応を要する保育相談支援援助技術
15	児童養護施設等について	・児童養護施設 ・母子生活支援施設等における保育相談支援について
定期試験	実施する。(保育士国家試験相当)	
テキスト	小林育子『演習 保育相談支援』萌文書林 2013.	
参考図書	柏女霊峰・橋本真紀・西村真実他『保護者支援スキルアップ講座 - 保育者の専門性を生かした保護者支援 - 保育相談支援(保育指導)の実際』ひかりのくに 2010.	
教員の評価方法	受講態度・演習参加(20%)、定期試験(80%)の総合評価	
準備学習等 履修上の留意点	相談援助・子どもの保健などを復習すること(援助技術と発達過程の知識がないと講義が難しくなる)	